

でつなげよう  
ひとの絆 地域の絆

# 食育市民ネットワーク 通信 Vol.3

ひろげよう食育  
らぶ

半年に一度お送りする食育市民ネットワーク通信は、今回で3回目になります。市教育推進計画に基づく「つくる・まなぶ・えらぶ・たべる・つたえる」の5本の柱の活動内容から、3つを紹介します。

「そだしよう食育」  
たぐる

**越前白茎ゴボウ**  
市内では、春江町だけで栽培されている越前白茎ゴボウ。ゴボウ(根が短く、茎の根元が白くて、この茎を食べることができるのが特徴です。もちろん、ゴボウもアグが少なくおいしく食べられます。若葉も天ぷらやおひたしでいただけます。

この地では、100年以上前から種取り用として栽培され、関西方面へ出荷されています。昭和60年の一村一品運動をきっかけに、食用野菜として

現在、原種の種取り農家は1軒だけ。直売所やイベントに加工品や生の白茎ゴボウを出しています。「たくさんの人にとって珍しい野菜を食べてほしい」と、仲間たちと頑張っています。



特産化しようと普及に取り組み、現在では福井県の伝統野菜として認められています。  
初秋に種まきをし、12月ごろに一度収穫。雪をくぐらせ、春に再び伸びてまたものを根とともに収穫。したものが一番柔らかくて美味しいのです。

生産者の顔が見える野菜が並んでいます。地元で作られた農産物が並ぶ「直売所」。農家自身が種まき、植え付け、収穫、袋詰めをして店頭に持ち込むのが一般的です。しかし、この一連の作業は言葉でいうほど容易なことではありません。生産者の中には寝る間も惜しんで作業する人もいます。「口

にするものや」と食に対する安全・安心の意識が高いのです。直売所ではコマツナやホウレンソウなどの一般的な作物から、ラッキョウや白茎ゴボウなどの伝統的な野菜まで販売しています。最近では、園芸人による手仕事で作られるおいしい野菜がたくさん並べられます。地元の農産物直売所に立ち寄って、手間と気持ちのこもった野菜を手に取り、作る人の思いを感じ味わってください。

「たのしもう食育」  
たべる

**城の子の「マイ弁当」**  
丸岡町の平章小学校では、平成19年度から年に5回、5・6年生を対象に「マイ弁当の日」を実施しています。

学力を支える基本的な生活習慣「早寝・早起き・朝ごはん」の定着を目指す食育の一環として行われている取り組みで、保護者からも好評です。

献立作成、食材の購入、調理、弁当詰め、後片付けなどを子ども自身で、または親子で行います。おにぎり弁当、栄養バランスを考えた弁当、地場産物を取り入れた弁当、子どもから家族へのまごころ弁当など、毎回テーマを設けて、世界でたった1つの「マイ弁当」を作ります。

この取り組みを通して、栄養バランスや地産地消のよさ、食事を作る楽しさや大切さを知り、家族に感謝する気持ちが育つていってほしいものです。

朝ごはんは、体・脳・心のエネルギーであり、1日のパワーの源です。脳のエネルギー源は、主にでんぶんから作られるブドウ糖です。朝ごはんを抜くと、夕食から8時間以上栄養補給されない状態になります。このままでは脳の働きは鈍り、イライラし、学習・仕事に集中できなくなります。

生活リズムを整える基本は、まず朝ごはんを食べる習慣からです。早寝・早起きのリズムを作り、眠い、食べたくないの悪循環を断ちましょう。



自分で弁当を作ったり、キャラ弁などで見た目を工夫することで、好き嫌いがなくなった子もいるんだよ！



▲子どもたちが作った「マイ弁当」。色や見た目にまでこだわった弁当で、食の楽しさを体感。親子のコミュニケーションも図れる

## 坂井市食育市民ネットワーク会員 募集

食を通じて「ひとつづくり・活力のあるまちづくり」を目指すために、食に関心のある人や団体がつながりを持つ場を提供します。より良い食育活動を市民に広めていくために、互いに学び、協力し合うネットワークに参加しませんか。

【参加資格】食育に関心のある個人や団体など 【参加費】無料  
【申込方法】下記までお申し込みください。随時募集しています。  
【問い合わせ先】健康長寿課☎50-3067 FAX 66-2940

## 食育フェスタを開催したよ

食の大切さをテーマに、11月18日(日)に食育フェスタを企画、開催しました。会場のいねすには500人以上の人が訪れ、食育への理解を深めました。みなさんも私たちと一緒に、楽しい食育を広めませんか。



▲清涼飲料水の糖分を調べる実験

朝ごはんで気分のりのり、元気もりもり！

